



 小津産業株式会社



第98期 報告書

平成20年6月1日～平成21年5月31日





代表取締役社長
中田 範三

企業理念

私たちは、伝統とは継続的な開拓の歴史との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献してまいります。

表紙写真



【表紙写真上／小津清左衛門店】
江戸時代後期に建てられた小津清左衛門店。現在の本社写真と同じ角度から撮影。土蔵作りの堅固な防火構築で、外観は2階建てだが、内部は3階まであった。



【表紙写真下／小津産業本社】
上記写真と同位置。創業から変わらない角地に存在する現在の小津産業本社ビル。1階は全国の手漉き和紙を取り扱う小津和紙の店舗があり、2階には文化教室、ギャラリー、史料館を構える。

CONTENTS

株主の皆様へ	1~2
事業部門の状況	3
グループ会社の状況	4
トピックス	5~6
社員インタビュー	7~8
連結財務諸表(要旨)	9~11
単体財務諸表(要旨)	11~12
小津の歩み	13
株式の状況・会社概要	14

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第98期(平成20年6月1日~平成21年5月31日)報告書をお届けするにあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。

当社グループは、『伝統とは継続的な開拓の歴史』との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考え、消費者ニーズの変化に対応しながら顧客満足のソリューションを提供する提案型機能商社として、株主価値の増大を図り、企業価値を高めてゆくことを基本方針としております。

具体的には、エレクトロニクス、医療、コンシューマー、アグリ(農業)分野向けの素材である不織布の加工・販売を中心とする「不織布部門」、ティッシュペーパーやトイレットペーパー、日用雑貨の首都圏流通を担う「家庭紙・日用雑貨部門」の2部門を柱とし、分野を横断した相乗効果を狙いつつ付加価値の高い製品や流通サービスの提供を行っております。

続きまして、当期における業績についてご説明いたします。当期におきましては、世界的な景気後退の影響を強く受け、特に収益の柱となる不織布部門のエレクトロニクス分野における減収が著しかったことから、売上高、利益ともに大変厳しい状況となりました。連結の売上高は415億6百万円(前期比2.7%減)、経常損失は6億46百万円(前期は4億16百万円の経常利益)、当期純損失は7億39百万円(前期は2億51百万円の当期純利益)となりました。

当社グループでは、平成22年5月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定し推進してまいりましたが、平成21年5月期業績が世界同時不況の影響を受けるなど、経営環境が当初から大きく乖離していることから、戦略を見直してまいります。

業績回復のための施策といたしまして、まず不織布部門全体として長繊維不織布「ベンリーゼ™」の用途拡大を目指します。分野別に申し上げますと、まずエレクトロニクス分野では国内需要に広く対応するため、九州・東北地

方での営業強化を図ります。そしてメディカル分野、コンシューマー分野では介護製品やコスメティック製品のように特長ある不織布資材を活かした営業提案を強化します。

さらに、農薬を使わない野菜の屋内生産と販売を行う野菜事業や、過酢酸系除菌剤「ミンケア®」のように環境に配慮し機能性に優れた製品の拡大に努めてまいります。

また家庭紙・日用雑貨部門におきましては、完成した販売システムやエリア配送の効率化を活かしたコストダウンを徹底いたします。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解をいただき、また従来と変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。



不織布部門

平成21年5月期連結売上高 **100億27**百万円

エレクトロニクス分野では、デジタル家電産業や光学機器メーカーに向けて、製造工程（クリーンルーム）を清潔な環境に保つために欠かせない高機能ワイパーを提供しています。
 メディカル分野では、医療現場の安全ニーズを捉え、医療用不織布ガーゼを中心に、ディスプレイのガウンやお産用シーツ、介護製品などを提供しています。
 コンシューマー分野では、フェイスマスクなどのコスメティック製品の素材を中心に、ティーバッグや、産業資材用テープなど不織布が様々な姿に形を変えて快適な生活をサポートします。
 アグリ分野では、国内の食の安全に対する意識の高まりを背景に、野菜の種まき時の省力化、集約化を図ることのできるシーダーテープの開発・販売に注力しています。

家庭紙・日用雑貨部門

平成21年5月期連結売上高 **299億94**百万円

コンシューマーグッズ分野の中でも家庭紙（ティッシュペーパーやトイレットペーパー）や生活に欠かせない各種日用雑貨のサプライヤーとして、ドラッグチェーンストアやスーパーマーケットの店舗に商品を届けています。首都圏をカバーする物流拠点の統廃合を完了し、地域密着型の自社物流ネットワークを活用した効率化配送を行っています。

洋紙・紙製品部門

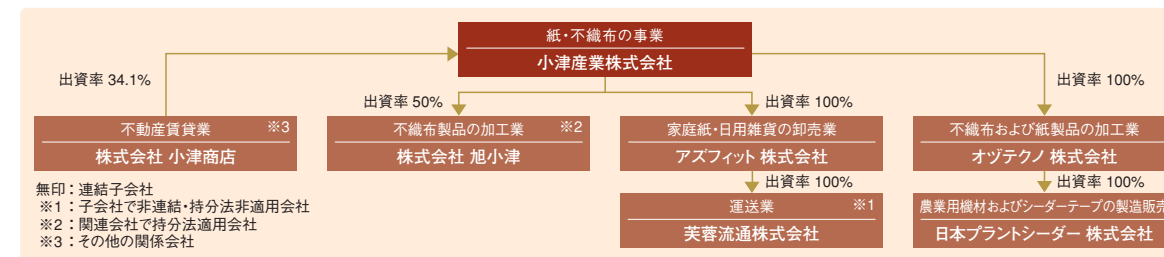
平成21年5月期連結売上高 **12億13**百万円

洋紙・紙製品部門では、印刷・出版業、百貨店などに対して印刷用紙や包装紙などの洋紙・板紙の販売とともに、タックシール、業務用ワイパーなど付加価値の高い紙の加工製品の提供を行っています。紙と不織布を扱う小津産業ならではの新しい商材をお客様のニーズに合わせて提案しています。

和紙部門

平成21年5月期連結売上高 **1億82**百万円

和紙部門は、文化教室やギャラリー、当社の歴史を展示した史料館を併設し、和紙という日本古来の優れた伝統文化を幅広い層のお客様に対して提供しています。また和 문화の継承という当社のメセナ（文化貢献）の役割を担っています。
 インターネット上の商品紹介や販売も好調に推移し、お客様から高い評価をいただいています。



オゾテクノ株式会社

（東部加工センター）
 不織布および紙製品の加工工場です。
 工業用、医療用不織布製品の製造を行っている医療機器製造認可工場です。
 （小津産業として医療機器製造認可を取得しています）



所在地：埼玉県さいたま市見沼区卸町1-15
 資本金：25百万円
 売上高：183百万円
 経常損失：28百万円

アズフィット株式会社

家庭紙・日用雑貨品の卸売、企画販売を行っています。
 紙と不織布に新しい価値や機能性を付加したPB商品を企画し、市場へ積極的に投入しています。



所在地：東京都府中市矢崎町1-39-1
 資本金：100百万円
 売上高：30,055百万円
 経常損失：772百万円

日本プラントシーダー株式会社

「シーダー農法」という独自の技術を持ったアグリ事業を展開。野菜や花などの種まきの省力化と効率化を図るシーダーテープに関連したマシンや資材の製造・販売を行っています。



所在地：東京都中央区日本橋本町4-9-2
 資本金：85百万円
 売上高：1,278百万円
 経常利益：119百万円

株式会社 旭小津

（西部加工センター）
 旭化成せんい株式会社との1：1の合弁会社。
 高付加価値製品開発を可能にした不織布の加工および医療用不織布製品の製造を行っている医療機器製造認可工場です。



所在地：宮崎県延岡市榑津町3294-1
 資本金：20百万円
 ※持分法適用会社

Topics 1

新規事業「日本橋やさい」始動！

“新鮮で安全な野菜をいつでもきちんと食べたい”

そんな素朴な想いに応えるために「日本橋やさい」事業は生まれました。一步一步確実に成長させ、将来は本社地近隣にも植物工場を設置することを目標に名付ました。

現在、レストランなどの外食産業に出荷されているほか、日本橋三越本店、同銀座店、伊勢丹新宿店など百貨店では「小津のやさい」の商品名で販売しております。



野菜工場 3倍増計画

温度や光、水、栄養分などをコンピューターで管理し、野菜や果物を安定生産することができる「植物工場」の普及に、農林水産省などが本格的に乗り出す。今後3年間で生産コストを3割削り、工場の数を3倍の150カ所に増やす計画だ。気候な

どに関係なく安定生産でき、無農薬で栽培できる。レタスは国内生産量約50万tの0.6%が工場産で、一部の野菜は「ミシュランガイド」の二つ星レストランでも使われているという。昨年10月に稼働した東京都府中市の「小津産業」の工場では、レタスなど8種類の野菜が育てていた。写真、川村直子撮影。(茂木克信)

「朝日新聞」2009年4月24日朝刊掲載



ロメインくん

Topics 2

感染症予防ビジネス拡大への一手

当社とイカリ消毒株式会社およびミンテック・ジャパン株式会社との間で、環境に配慮した抗菌、防虫およびワイピングビジネスの組み合わせによる新しいビジネスモデル展開を図るため、業務提携を行うことといたしました。この3社業務提携により、イカリ消毒株式会社の販売網を活用して感染症予防ビジネスの拡大を目指してまいります。

写真(上段)はその一環でイカリ消毒株式会社と共同で行った展示会の模様です。



過酢酸系除菌剤 ミンケア® 電動噴霧器 OZMIC

Topics 3

文化体験 in 小津和紙

今期(平成21年5月期)も小津和紙において、和紙の日(8月4日)、歳末、春の3回、感謝フェアを行いました。感謝フェア期間中は店舗2階の文化教室で書道、水墨画、ちぎり絵、紙人形などさまざまなジャンルの1コイン(500円)体験レッスンを行いました。(写真上段)

また、店内の紙漉き場では紙漉き体験を実施し、特に海外からのお客様に好評でした。(写真下段)



当社の主力部門である不織布部門と350余年の伝統を誇る和紙部門に所属する社員にインタビューをしてみました。



機能素材営業部
メディカルサプライ販売
河西 香菜子

入社5年目の河西さん。

コスメ業界からメディカル業界へ異動して1年の彼女から見たメディカル分野とは？

今、私は病院や介護施設で使用するガーゼやシーツなどの不織布を中心としたメディカル製品を販売しています。様々な人・企業・工場に出会い、知識を増やしていくのは面白いと思いますが、各業界によって雰囲気も仕事の進め方も違うため、戸惑うことがありました。

一番違う点はなんでしょう？

同じ業界でも一律に同じやり方ができる訳ではありませんが、提案方法の違いを一番大きく感じます。コスメ業界では化粧品メーカーの要求に合う素材を提案し、納入していたのに対して、メディカル業界ではメーカーに素材を提案するだけでなく、カタログに記載した既製品も紹介しています。

自慢したい当社の製品は？

「検知バン」です。食品工場の作業者向けに開発した絆創膏で、業界初のX線感知が出来ます。青い色をしているので万が一混入した時に発見しやすくしてあります。まだまだ開発の余地が多くある商品ですが、ゆくゆくは海外市場へも進出していきたいと考えてます。



機能素材営業部
クリーンサプライ販売
海外グループ
中野 伸昭

先日、香港支店より帰国したばかりの中野さん。

海外支店勤務が長い彼から見た本社と支店の違いとは？

従業員が外国人ばかりということ以外は余り変わらないですね。支店の中では中国語が飛び交い、日本との連絡の時だけ日本語が聞こえる感じです。ただ近隣の地域への出張が多く、支店には殆どいませんでした。

支店勤務の前と後では、本社は何か違いますか？

そうですね……新しい人が増えたのもありますが、挙げるとするなら社内のパソコンシステムが変わった点でしょうか。今までは考え方や国民性が違う方々に、こちらの要求を分かって頂くことに苦心していましたが、帰国した後は、新システムの使い方を覚えきれていないことが大変です。

自慢したい当社の製品は？

やはり「ベンリーゼ™」ですね。世界で唯一のコットン由来の不織布であり、固有の特長を持っています。工業用途だけでなく、メディカル、コスメ、アグリなど分野を問わず用途拡大の可能性があります。



機能素材営業部
ライフサプライ販売
金城 永幸

大阪支店でコンシューマー分野に関わっている金城さん。

7年前、小津産業に入社した転職経験者の彼から見た小津産業とは？

自由な社風というのが最初の印象です。個人を尊重してもらえる環境であるため、自身で考えて物づくりができる会社だと考えています。但し、責任も大きく寄与するのでそのプレッシャーと戦っていかねばなりません。それを乗り越えられると大きく成長できると思いますが。

コスメ業界、食品業界など幅広い業界に製品を提供しているコンシューマー分野ですが、現在力を入れているのはなんでしょう？

現在、コスメ業界への営業提案を強化しています。自分が化粧をするわけではありませんので、特にトレンドを掴むことに努めています。お客様に信頼されるフォローができ、一つでも多くの商品作りに関わりたいと思っています。

自慢したい当社の製品は？

化粧用コットンですね。殆ど得意先のブランド名で販売されているので、小津産業という名前は出てきませんが、様々なメーカーの不織布を取り扱っている小津産業ならではの品ぞろえで、多くの化粧品会社で使われています。



和紙文化センター
今井 香子

書道の講師であり、小津和紙店員であり、文化教室やギャラリーの担当もしている今井さん。

いくつもの顔を持つ彼女から見た小津和紙とは？

当社は大変歴史のある会社です。その歴史にふさわしく、文化芸術面においても社会貢献をできる会社でありたいと思っています。文化教室では、他のカルチャーセンターとは一味違ったサロニックな雰囲気を持つように、ギャラリーでは出展者の方が気持ちよく展示会ができましたと言っていただける雰囲気を作りたいと思っています。

小津社員書道教室の講師もされているとか。

社員の書道教室は以前から行っていましたが、私は通常の書道だけでなく、象形文字のような作品作りであったり、季節のお手紙などを盛り込んでいます。歌うことと同じように、文字で表現するというのも癒しの一つだと考えているので、上達することだけが目的ではなく、書くことを楽しんでいただけるように心掛けています。

自慢したい当社の製品は？

なんと言っても、手漉き和紙です。日本全国の紙漉き職人から仕入れた手漉き和紙は、美しく、独特の味わいと温もりを感じます。また製品ではありませんが、ギャラリー施設やお教室設備、そしてそこに集う先生方、生徒さんたち全ての人々も私の自慢です。



■ 連結貸借対照表(要旨)

科目	(単位:千円)		科目	(単位:千円)	
	当期 (平成21年5月31日現在)	前期 (平成20年5月31日現在)		当期 (平成21年5月31日現在)	前期 (平成20年5月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	13,415,634	15,504,933	流動負債	7,307,101	8,488,144
現金及び預金	3,895,366	4,261,195	支払手形及び買掛金	4,835,885	5,692,253
受取手形及び売掛金	7,212,885	8,583,990	短期借入金	1,200,000	1,560,000
有価証券	101,753	101,391	その他	1,271,215	1,235,891
たな卸資産	—	1,898,198	固定負債	2,596,717	2,845,314
商品及び製品	1,505,593	—	社債	1,100,000	1,237,500
原材料	218,567	—	長期借入金	935,105	967,797
繰延税金資産	72,413	94,326	リース債務	75,783	—
その他	453,576	660,450	繰延税金負債	104,369	268,153
貸倒引当金	△44,521	△94,619	退職給付引当金	174,322	168,899
固定資産	7,457,674	8,019,849	役員退職慰労引当金	172,774	170,460
有形固定資産	4,508,857	4,586,959	その他	34,361	32,503
建物及び構築物	2,512,260	2,603,757	負債合計	9,903,818	11,333,459
機械装置及び運搬具	49,977	46,167	(純資産の部)		
土地	1,903,303	1,903,303	株主資本	10,814,775	11,722,867
リース資産	3,392	—	資本金	1,322,214	1,322,214
その他	39,923	33,731	資本剰余金	1,374,967	1,374,967
無形固定資産	441,987	311,159	利益剰余金	8,120,327	9,028,177
投資その他の資産	2,506,829	3,121,729	自己株式	△2,733	△2,491
			評価・換算差額等	154,713	468,456
			その他有価証券評価差額金	154,713	468,456
資産合計	20,873,308	23,524,783	純資産合計	10,969,489	12,191,323
			負債純資産合計	20,873,308	23,524,783

■ 連結損益計算書(要旨)

科目	(単位:千円)	
	当期 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)	前期 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)
売上高	41,506,205	42,674,233
売上原価	35,275,696	35,745,725
売上総利益	6,230,509	6,928,507
販売費及び一般管理費	6,851,399	6,500,347
営業利益又は営業損失(△)	△620,890	428,160
営業外収益	118,406	104,451
仕入割引	32,292	18,171
その他	86,114	86,280
営業外費用	144,213	116,201
支払利息	59,809	59,065
その他	84,403	57,135
経常利益又は経常損失(△)	△646,698	416,410
特別利益	79,596	295,846
貸倒引当金戻入額	59,337	37,482
保険返戻金	2,336	152,576
固定資産売却益	175	95,948
投資有価証券売却益	17,499	—
その他	247	9,838
特別損失	30,870	115,736
固定資産売却損	—	9,875
固定資産除却損	21,755	8,249
解約損害金	—	14,529
投資有価証券評価損	2,359	39,027
その他	6,756	44,055
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△597,972	596,520
法人税、住民税及び事業税	80,336	283,868
法人税等調整額	60,871	60,826
当期純利益又は当期純損失(△)	△739,180	251,825

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	(単位:千円)	
	当期 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)	前期 (平成19年6月1日から 平成20年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	410,822	748,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642,981	382,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520,198	△497,444
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△14,556	△11,955
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△766,914	621,907
現金及び現金同等物の 期首残高	4,341,547	3,719,640
現金及び現金同等物の 期末残高	3,574,633	4,341,547

連結貸借対照表 POINT
 資産合計は前期比26億51百万円減少の208億73百万円となりました。資産の部では“現金及び預金”が3億65百万円減少、“受取手形及び売掛金”が13億71百万円減少しました。負債の部では“支払手形及び買掛金”が8億56百万円の減少、“短期借入金”が3億60百万円減少しました。

連結損益計算書 POINT
 売上高が前期比で2.7%減少したこと、さらに売上総利益率が悪化したことにより、売上総利益が前期比で6億97百万円減少いたしました。また、家庭紙・日用雑貨部門におけるエリア配送システム構築に想定以上の費用を要したことにより、営業損失が6億20百万円となりました。これらの結果、当期純損失は7億39百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 POINT
 “営業活動によるキャッシュ・フロー”は、売上債権の減少が13億71百万円あったこと、仕入債務の減少があったことにより、4億10百万円の収入となりました。“投資活動によるキャッシュ・フロー”は有形固定資産の取得による支出が1億42百万円あったこと、定期預金の預入による支出が4億1百万円あったことにより、6億42百万円の支出となりました。

連結株主資本等変動計算書

平成20年6月1日から平成21年5月31日まで
(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年5月31日 残高	1,322,214	1,374,967	9,028,177	△2,491	11,722,867	468,456	468,456	12,191,323
連結会計年度中の 変動額								
剰余金の配当			△168,668		△168,668			△168,668
当期純利益			△739,180		△739,180			△739,180
自己株式の取得				△242	△242			△242
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)						△313,742	△313,742	△313,742
連結会計年度中の 変動額合計	-	-	△907,849	△242	△908,091	△313,742	△313,742	△1,221,834
平成21年5月31日 残高	1,322,214	1,374,967	8,120,327	△2,733	10,814,775	154,713	154,713	10,969,489

株主資本等変動計算書

平成20年6月1日から平成21年5月31日まで
(単位:千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産 合計			
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金		評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途 積立金						利益 剰余金 合計	
平成20年5月31日 残高	1,322,214	1,374,758	1,374,758	271,033	7,540,000	705,425	8,516,459	△2,491	11,210,940	455,536	455,536	11,666,476
事業年度中の 変動額												
別途積立金の積立					30,000	△30,000	-	-	-			-
剰余金の配当						△168,668	△168,668	△168,668				△168,668
当期純利益						5,848	5,848	5,848				5,848
自己株式の取得							△242	△242				△242
株主資本以外の項目 の事業年度中の 変動額(純額)										△283,222	△283,222	△283,222
事業年度中の 変動額合計	-	-	-	-	30,000	△192,820	△162,820	△242	△163,062	△283,222	△283,222	△446,285
平成21年5月31日 残高	1,322,214	1,374,758	1,374,758	271,033	7,570,000	512,605	8,353,638	△2,733	11,047,878	172,313	172,313	11,220,191

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (平成21年5月31日 現在)	科目	当期 (平成21年5月31日 現在)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	8,014,325	流動負債	3,857,898
現金及び預金	2,692,719	支払手形	199,728
受取手形	1,220,677	買掛金	1,737,534
売掛金	1,631,909	短期借入金	1,200,000
有価証券	101,753	1年内返済予定長期借入金	7,444
商品	612,284	1年内償還予定社債	400,000
前渡金	4,455	未払金	82,975
前払費用	15,577	未払費用	178,304
繰延税金資産	64,226	未払法人税等	7,077
関係会社短期貸付金	1,520,000	その他	44,834
その他	172,921	固定負債	2,178,660
貸倒引当金	△22,200	社債	1,000,000
固定資産	9,242,425	長期借入金	911,787
有形固定資産	2,561,607	繰延税金負債	61,710
建物	1,330,370	退職給付引当金	58,551
構築物	276,197	役員退職慰労引当金	119,200
機械装置	9,692	その他	27,410
車両運搬具	261	負債合計	6,036,558
器具備品	23,677	(純資産の部)	
土地	921,408	株主資本	11,047,878
無形固定資産	56,224	資本金	1,322,214
投資その他の資産	6,624,593	資本剰余金	1,374,758
投資有価証券	1,182,255	資本準備金	1,374,758
関係会社株式	4,243,386	利益剰余金	8,353,638
関係会社長期貸付金	400,000	利益準備金	271,033
長期前払費用	416,897	その他利益剰余金	
保険積立金	170,603	別途積立金	7,570,000
その他	371,716	繰越利益剰余金	512,605
貸倒引当金	△160,265	自己株式	△2,733
		評価・換算差額等	172,313
		その他有価証券評価差額金	172,313
資産合計	17,256,750	純資産合計	11,220,191
		負債純資産合計	17,256,750

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (平成20年6月1日から 平成21年5月31日まで)
売上高	10,647,739
売上原価	8,282,578
売上総利益	2,365,160
販売費及び一般管理費	2,296,905
営業利益	68,255
営業外収益	74,399
営業外費用	84,902
経常利益	57,752
特別利益	24,879
特別損失	8,644
税引前当期純利益	73,987
法人税、住民税及び事業税	10,403
法人税等調整額	57,735
当期純利益	5,848

■ 「小津の歩み」をリリース！

平成21年4月1日に当社のホームページをリニューアルしました。
 トップページには小津産業の356年の歴史を綴るスペシャルコンテンツ「小津の歩み」をリリース。1653年、徳川幕府4代将軍 家綱の時に小津清左衛門長弘の手で創業した紙問屋から現在までの先人たちの歩みを絵巻物風に表現しました。是非一度ご覧ください。



「小津の歩み」アドレス

<http://www.ozu.co.jp/ayumi/index.html>



■ 株式の状況 (平成21年5月31日現在)

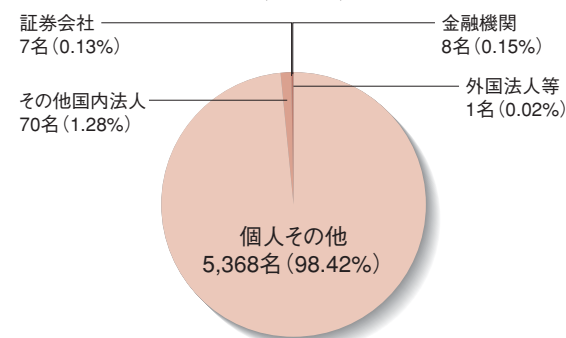
- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済み株式の総数 8,435,225株
- 株主数 5,454名

■ 大株主

株主名(上位10名)	持株数	持株比率
株式会社 小津商店	2,876,076株	34.10%
小津取引先持株会	354,900株	4.21%
小津産業従業員持株会	199,260株	2.36%
今井 武一	169,821株	2.01%
別府 清一郎	137,790株	1.63%
日本大昭和板紙株式会社	133,750株	1.59%
岡 喜美子	121,464株	1.44%
旭化成せんい株式会社	117,700株	1.40%
株式会社 みずほ銀行	117,000株	1.39%
株式会社 三井住友銀行	110,000株	1.30%

(注) 持株比率は自己株式(2,018株)を控除して計算しております。

■ 株式の所有者別状況 (株主数)



■ 会社概要 (平成21年5月31日現在)



創 業 承応2年(1653年)
 設 立 昭和14年12月6日
 資 本 金 13億2,221万円
 従業員数 153名
 事業内容 不織布(エレクトロニクス用、メディカル用、コンシューマー用)、洋紙・紙製品、和紙などの国内販売加工、輸出入および野菜の生産販売

■ 事業所

本 社 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル
 〒103-8435 TEL.03-3661-9400
 小津和紙 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル
 〒103-8435 TEL.03-3662-1184
 大阪支店 / 九州出張所

■ 海外事業所

シンガポール支店 / 香港支店 / 武漢事務所 / 上海駐在員事務所

役員

代表取締役社長 中田 範三
 常務取締役 山本 行高
 常務取締役 長瀬 健
 取締役 今枝 英治
 取締役 河田 邦雄
 取締役 近藤 聡
 取締役相談役 北村 純夫
 常勤監査役 大家 孝明
 常勤監査役 穴田 信次
 監査役 城見 浩一
 監査役 松田 繁

執行役員

執行役員 佐藤 功
 執行役員 稲葉 敏和
 執行役員 山口 和則
 執行役員 小林 浩史

(平成21年8月28日現在)

◆株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月下旬
配当基準日 期末配当 5月31日
中間配当を行うとき 11月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引先の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 電子公告 (<http://www.ozu.co.jp/>)
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

◆INFORMATION

株主優待制度について

①株主優待の方法

毎年5月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に対し、以下の基準により贈呈いたします。

②優待内容

◆100株以上

ティッシュペーパー、トイレトペーパー詰合せ 2,000円相当

◆500株以上

ティッシュペーパー、トイレトペーパー詰合せ 3,000円相当

③贈呈時期

定時株主総会後に発送いたします。



 小津産業株式会社

〒103-8435 東京都中央区日本橋本町3丁目6番2号

TEL 03(3661)9400

ホームページアドレス <http://www.ozu.co.jp/>